

FUKUYAMA

ばらのまち福山



市議会だより



12月定例会

2012年(平成24年)2月1日

福山港国際コンテナターミナル

No.40

新春のごあいさつ……………	2
一般・特別会計決算を認定 ……	2
請願の審議結果……………	2
議会基本条例と政治倫理条例…	3
代表質問および個人質問…	4～7
特別委員会の視察報告…………	8

平成23年12月定例会

平成23年第7回定例会は、12月1日から20日までの会期20日間で開かれました。

総額約30億5800万円の一般会計補正予算案や福山市事務分掌条例の一部改正案など30議案を原案どおり可決しました。このほか、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意し、また、議員提出の議会基本条例の制定案や政治倫理条例の制定案など3件についても可決しました。なお、請願5件のうち1件は不採択、残る4件は継続審査となりました。

新春のごあいさつ



議長
徳山 威雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

福山市は、厳しい財政環境の中ではありますが、市制施行100周年に向け、「持続可能なまちづくり」をキーワードに、「住民の皆さまが安心して住み続けることができ

る、活力と魅力あるまちづくりを推進しています。

市議会では、昨年12月の定例会において、議会のあり方を明文化した議会基本条例と、議員が遵守すべき行動規範を定めた政治倫理条例を制定し、本年5月から施行することになりました。市民に開かれた議会として市民の意思を市政に反映させ、市民福祉の向上と市政の発展に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

22年度一般会計・

特別会計決算を認定

11月7日から11日まで、一般・特別会計決算特別委員会が開かれ、22年度の一般会計と特別会計（14会計）の決算認定議案について、書類審査と質疑を行い、予算が効果的に執行されているかなどを審査しました。

その結果について、12月定例会の初日に委員長報告を行い、予算執行において、決算審査での指摘事項などを十分踏まえ、今後の行財政運営に反映させるよう要望意見を付けて、賛成多数で全ての決算議案を認定しました。

請願の審議結果

議会に提出された請願の審議結果をお知らせします。

- ◆議会基本条例等の制定前に内容説明と市民意見の募集実施の要望について（不採択）

市議会議員選挙の日程が決まりました！

4月1日（日）告示

4月8日（日）投開票



議会基本条例と政治倫理条例を制定



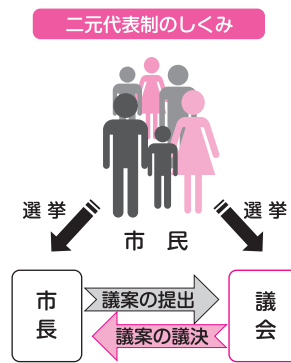
本会議での採決

福山市議会では、議会基本条例と政治倫理条例の制定を地方分権時代における議会改革の重要事項と位置付け、22年6月25日に議会基本条例等検討特別委員会を設置し、36回にわたり委員会を開き、さまざまな角度から協議を重ね、23年12月20日の本会議において両条例制定案を議員発議し、可決しました。なお、この二つの条例は、本年5月1日から施行します。

議会基本条例

条例制定の背景

地方議会は、地方分権が進展する中、二元代表制の下で、市長等の執行機関と緊張ある関係を保ちながら、市政の監視と評価、政策立案と政策提言を行うことが求められるなど、その果たすべき役割と責務は増大しています。



このため、議会に関する基本的事項を定めた本市議会の最高規範となる議会基本条例の制定が必要であると考え、議会と議員の説明責任、議会の機能の強化、議会活動への市民参加などを規定した本条例を制定しました。

条例の主な内容

この条例では、議会と市民、また議会と市長等について、次のように定めています。

市民の参加機会の充実

議会は、市民が議会の活動に参加できる機会を確保し、市民の意見を反映させた政策提言の拡大を図ります。また、議会報告会の開催などにより、市民に本会議や委員会等の議会活動について情報発信するように努め、それに対する市民の意見の聴取などにより、議会運営の改善を図ります。

情報公開の推進と広報の充実

議会は、市民に開かれた議会として、保有する情報の提供に努めます。また、多くの市民が議会と市政に関心を持つよう広報活動に努めます。

質問等での一問一答方式の採用

本会議での質問等は、これまでの「一括質問一括答弁方式」から「一問一答方式」のいずれかを選択して、論点や争点を明確に行います。

市長等の反問権

市長等は、本会議や委員会等で議長や委員長長の許可を得て、質問等の趣旨を確認するために質問することができず。

なお、この条例は、前文と次の12章から構成されています。

- 1 総則
- 2 議員の責務及び活動原則
- 3 議会運営の原則
- 4 議会の機能の強化
- 5 市民との関係
- 6 市長等との関係
- 7 議会改革の推進
- 8 議員の政治倫理
- 9 議会及び議会事務局の体制整備
- 10 議員の定数及び議員報酬
- 11 最高規範性
- 12 補則

政治倫理条例

議員の政治倫理について基本事項を定めることにより、議員が政治倫理の確立に努めるとともに、市民の厳粛な信託に応え、民主的な市政の発展に寄与することを目的として本条例を制定しました。

福山市議会では、条例制定を機に、より一層議会の活性化を図るとともに、議会と議員の責務を自覚しながら、市民の皆さんの負託に応えられる議会をめざして、全力で取り組んでいきます。※

※市議会ホームページに条例の全文を掲載しています。

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して議員6人が代表質問を、また会派に属していない無所属の議員2人が個人質問を行いました。その概要は、次のとおりです。

代表質問

水曜会



熊谷 寿人 議員

24年度予算編成の特徴は

問 24年度は、東日本大震災や急激な円高の影響などで、市税収入の減少と社会保障関係費の増加が見込まれる。①市税収入や投資的経費等の見込みは。②予算編成で力を入れる点は。

答 ①歳入では、固定資産税の減少等により、市税全体で本年度に比べ10億円を超える大幅な減少になると見込んでいる。歳出では

扶助費や社会保障関係費の増加は避けられず、投資的経費については、大規模な基盤整備は一段落するが、必要な事業は、可能な限り財源を確保し着実に推進していく。②本市が将来にわたり発展していくための施策の展開が必要で、一層の施策の選択と財源の重点化を図る中で、持続可能な財政運営を基本に積極的に取り組む。

行財政改革の進捗状況は

問 行財政改革大綱に基づき22年度までに、294億円の節減や1002人の職員削減などさまざまな改革を実施し、新たに生じた財源を子育て支援事業等に充て、市民ニーズに沿ったまちづくりを進めてきたが、成果と今後の取り組みは。

答 10年度から取り組んだ成果は、事務事業の見直しなどで109億円、定員、給与の適正化で126億円の経費削減を図るなど、総額294億円の節減につながり効率的、効果的な行政運営が図られた。23年4月以降は、第4次の大綱に基づき、引き続き行財政改革に取り組んでいる。

広域連携について

問 広域的な課題を自治体間で連携して取り組むと、(仮称)備後圏域連携協議会を設立することである。①参加自治体は。②今後の取り組みは。

答 ①本市をはじめ、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町と、県境を越えて笠岡市と井原市である。②住民生活でも、日常生活圏や経済圏が拡大するとともに、大規模災害や救急医療など行政区域を越えて広域的に対応すべき課題が増えており、広域的な課題などに自治体間で連携して取り組み、活力と魅力ある圏域づくりを進める。

(仮称)こども発達支援センターの整備は

問 発達障がいに関する医療・療育支援を受けられる公的専門機関として、本市を中心に県東部4市1町が連携し、開設に向け整備に取り組んでいる。①今後のスケジュールは。②運営体制は。③近隣市町との連携は。

答 ①24年度中の供用開始に向け、諸準備を進める。②センターの機能に応じた職種や人員体制の整備に向け段階的に採用を行う。③笠岡市、井原市、世羅町からも参加意向を聞いており、今後、関係市町連絡会議を設置し、事業の円滑な推進について協議を進める。

明政会



桑田 真弓 議員

避難所の運営マニュアルの策定は

問 本市も国・県の動向を見ながら、地域防災計画の見直しに取り組んでいる。避難所の運営マニュアルの策定は地域住民との綿密な擦り合わせが必要と考えるが、その対応は。また、いわゆる災害弱者の声を吸い上げる方法は。

答 避難所の運営マニュアルの見直しを行っている。避難所の運営には地域住民の協力が不可欠と考えており、自主防災組織との意

見交換会を開催するなど、地域の
実情に合った運営ができるように
努める。出前講座などでも声を
伺っており、見直しに反映する。

**地域活性化総合特区指定
への動きは**

問 被災地の環境都市への再
生として「スマートコミュニテ
ィ」への動きがあり、期待され
る。本市でも環境観光モデル都
市づくり推進特区の動きがある。
①その内容は。②本市はどのよ
うに参画するのか。

答 ①沼隈町常石地区を中心と
したエリアで、工場と家庭が連携
したエネルギーの効率的な活用や
環境観光の振興などを行う「地域
活性化総合特区」の指定をめざ
す。②12月中に国の審査の結果が
出ると聞いており、国の決定を受
けて県や参加企業と連携を図る。

災害廃棄物の受け入れは

問 2200万トン以上と言
われる、東日本大震災で発生し
た、がれきなどの災害廃棄物の
処理が進められている。本市に

も受け入れの調査があったと思
うが、現状は。また、情報を開
示して議論するべきと考えるが。

答 23年11月に国から、受け入
れについて再調査があったが、災
害廃棄物の処理に関わる安全性や
処理基準等が不明確で、未定と回
答した。本市としては、中核市市
長会等を通じて、放射能汚染に対
する安全対策の推進や健康被害対
策の強化など、適切な措置を講ず
るよう国に要請した。今後、国が
示す災害廃棄物の処理方針を注視
し、市民の安全・安心を基本に、
情報開示を含め、適切に判断する。

女性委員の登用率向上対策は

問 本市における審議会など
への女性委員の登用率は23%と
県内市町平均の24・6%に及ば
ない。どう分析し、どのような
対策を講じているのか。

答 その要因は、委員等の推薦
をいただく選出母体に女性の参画
が進んでいない状況や、選任基準
に職務分野を指定している場合、
その分野に女性が少ないことなど
が考えられる。こうした状況を踏

まえ、女性の公募委員の積極的起
用、男女共同参画センターに登録
した人材情報の活用、女性参画の
必要性の周知、啓発などを行う。

公明党



中安加代子 議員

子どもの読書教育は

問 ブックスタートで乳幼児
が絵本に出会い、読み聞かせが
広く行われ、学校にも豊かな読
書環境があるというような、就
学前も含めた子どもの読書教育
についての考えは。

答 「子ども読書活動推進計
画」を22年に策定し、読書環境の
整備、読書活動の計画的な推進に
取り組んでいる。絵本と出会うふ
れあい事業では、図書館司書が絵
本の読み聞かせを行ったり、こん
には赤ちゃん訪問事業では、お
はなし会のチラシなどを配布して
読み聞かせの大切さを伝える取り
組みを行っている。引き続き、学
校、家庭、図書館が連携しながら

読書活動の一層の充実に努める。

女性の視点での防災対策は

問 ①女性、高齢者、障がい
者の視点での緊急物資の備蓄状
況は。②女性等が災害時の担い
手として活躍できる仕組みを防
災対策に取り入れる考えは。

答 ①避難所用仕切りユニット
や介護・衛生用品、身障者用トイ
レ等の備蓄を行っている。②女性
会等を対象に出前講座を実施する
など、地域防災活動を担う人材の
育成に努める。また、女性や子ど
も、高齢者、障がい者等さまざま
な立場の人たちに配慮した避難所
の運営マニュアル作成に取り組む。

市民連合



川崎 卓志 議員

高校生の就職支援は

問 高校生の就職内定率は、
県教委のまとめでは、10月末現
在、61%で前年度比1・5ポイ

ント減少し、依然として厳しい状況が続いている。本市でも11月に県などの主催で就職ガイダンスが開催されたが、本市として最大限の支援策を。

答 市内の高校生の就職内定状況を踏まえ、23年6月に、福山商工会議所をはじめ関係団体に、雇用の確保などを要望した。また、出前講座、職場体験学習や事業所見学、企業と学校の交流会を実施しており、引き続き、関係機関等と連携を図り就職支援に努める。

市街化調整区域にも 公共下水道を

問 衛生的で文化的な生活を営む上で欠かせない公共下水道事業は、芦田川の水質浄化のためにも重要な事業である。これまで市街化区域を優先的に整備してきたが、市街化調整区域など市街化区域以外の整備の今後の取り組み方針は。

答 市街化区域以外の整備は、公共下水道と合併処理浄化槽の経済比較などを行い、公共下水道処理区域を再設定し、本年度末には

一部地域の事業認可を取得する予定である。今後、接続同意が得られた地域から、順次整備を進める。

日本共産党



村井 明美 議員

医師確保の取り組みを

問 医療現場が多忙化している。①市民病院への夜間小児救急センター開設の要望があるがその開設を求める。②全国的な医師不足の中、将来、本市で働く小児科医や産科医、救命救急医を確保するため、特別奨学金制度の創設を求める。

答 ①市民病院を含む4医療機関で、市民が安心できる小児二次救急医療体制の構築に向け取り組んでいる。②23年7月、財団法人広島県地域保健医療推進機構を設立し、地元出身医師の確保を目的に、医師育成奨学金制度を設けた。本市も、この制度を積極的に活用し、必要な診療科の医師確保に努める。

青年・成人の居場所 づくりを

問 市内の青年の引きこもり人数の推計値は、23年7月末で約2500人とされている。これらの青年や成人などの支援として、安心できる居場所・自立支援の場づくりを進めることは重要である。地域福祉計画に示された取り組みの具体は。

答 引きこもりがちな若者には青少年の自立支援プロジェクト事業で、発達障がいのある人には当事者の集いで、それぞれ共同作業や社会体験活動を通して、社会に踏み出すきっかけをつくる事業を実施している。

新政クラブ



大塚 忠司 議員

管理が不十分な空き家対策は

問 管理不十分な空き家には、不審者の出入りや放火などが

が懸念され、防犯・防火上の問題が、また、雑草が茂るなど環境衛生上や景観上の問題があり対策が必要と感じる。市民からの相談等にごう対処しているのか。

答 放置された空き家は、倒壊の危険性など、安全上や生活環境悪化の不安から、年間10件程度の相談などがあり、所有者等の調査を実施し、全ての相談案件について適正管理の指導を行っている。

学校仲裁所の取り組みを 参考に

問 ノルウエーでは、いじめなどの問題行動について、児童生徒が仲裁役を務め、話し合いを通して互いに理解を求める学校仲裁所の取り組みを行っている。冷静に自らの言動や相手の気持ちを自らが考える機会になり、仲裁役も仲裁を通して、会話が解決できることなどを学べる良い取り組みだと思いが、本市の考えは。

答 学校生活で起こった問題を児童生徒自らが明らかにし、解決

する具体的な方法を学級全体で考え、実行していく取り組みを学級活動の中で行っている。諸問題について児童生徒同士が話し合い、相互に理解を深めながら問題を解決していくことが重要で、学校仲裁所は、今後の取り組みの参考にする。

個人質問

無所属



大田 祐介 議員

地下送迎場について

問 7月の供用開始以来、マイカーの利用が1日300台程度と伸び悩んでいる地下送迎場をタクシー乗り場に、地上をマイカーの送迎場にしてはどうか。特定少数のタクシー運転手であれば、スムーズに地下送迎場を利用できる。また、駅西側の口一タリーもタクシー乗り場に転用してはどうか。現状は、ニューキャッスルホテル周辺に多数

のタクシーが路上待機し、問題となっている。転用により、違法駐車も排除も可能で、駅から北・西方向に行く人には利便性が高く、駅前地下のタクシー乗り場からは、駅から南・東方向に行く人に利便性が高く、目的地による利用者のタクシー乗り場の選別行動が発生すると考えられる。そして、駅前の地上部でマイカーによる送迎が可能になれば、不特定多数の市民が迷うことなく利用でき、駅前広場整備に対する市民の批判も弱まるのではないか。

答 タクシー乗降場は、利便性が高く分かりやすい場所に配置している。地下送迎場の利用は、利用していない運転者への聞き取り調査の結果、供用開始を知らない人が多かったため、引き続き、市民への周知、啓発などに取り組む。

無所属



落合 真弓 議員

福山城の活用について

問 ①福山城跡の全体整備計画策定の進捗状況は。②34年に築城400年を迎える福山城を生かしたまちづくりについての考えは。

答 ①23年10月、史跡福山城跡保存管理準備会を立ち上げ、基礎的な資料の収集を行っている。今後、専門家による整理、分析を行った後、委員会を設置し、保存管理計画の策定を行う。②城下町福山の歴史、文化のシンボルである福山城を中心とした周辺地域を文化ゾーンとして整備しており、今後も周辺施設と一体となった魅力あるまちづくりを進める。

レジ袋の削減について

問 ①本市で年間に使用されるレジ袋の枚数と、それをCO2に換算した量は。②県内では21年10月1日からレジ袋の有料化に取り組んでいるが、本市がいまだに参加しない理由は。

答 ①年間約1億4000万枚で、CO2に換算すると約6600トンに相当する。②有料化はレ

ジ袋の削減によるごみの減量という点では一定の効果がある手法であるが、地球環境の保全やごみの減量化は、市民や事業者の自発的な自主的な取り組みが基本と考える。今後とも、環境意識の醸成と環境にやさしい行動の定着につながるような施策を推進する。

3月定例会の開催予定

2/17(金)	本会議 (市長総体説明など)	3/ 2(金)	予算特別委員会
24(金)	本会議 (代表質疑)	5(月)	予算特別委員会
27(月)	本会議 (代表質疑)	6(火)	予算特別委員会
28(火)	本会議 (代表質疑)	7(水)	予算特別委員会
29(水)	本会議 (一般質問など)	8(木)	予算特別委員会
3/ 1(木)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)	13(火)	議会運営委員会 本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、3月13日の本会議は午後1時から)
○詳しくは、議会事務局 ☎084-928-1136までお問い合わせください。

行財政改革特別委員会（8月9・10日）

茨木市…アウトソーシング指針などについて
岡崎市…民間委託検討指針などについて



岡崎市

茨木市は、民間委託など民間活力の積極的な活用（アウトソーシング）により経費の削減を図っており、その検討方法などを示した「アウトソーシング指針」を作成し、各課において指針を基に事務事業の点検を行い、民間に委ねることで効果が得られるものは積極的に民間委託を行うよう検討を進めています。

岡崎市でも、官と民の役割分担を再検討し、「民間委託検討指針」を作成して民間委託を推進しています。本市も、行財政改革大綱（第4次）で、公と民の役割分担のあり方などを精査し、事務事業の見直しを行うこととしており、今後効率的、効果的な行政運営の推進を図っていく上での参考となりました。

都市整備特別委員会（8月9・10日）

金沢市…武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発事業について
福井市…手寄・福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業について



金沢市

金沢市では、近江町市場の約3分の1の空間を継承する中で、交流プラザなど新たな機能を付加した、地上権設定方式による再開発を視察しました。現在では、市民の台所として多くの方が利用されていました。

福井市では、駅周辺をにぎわい交流拠点として、駅東口手寄地区に県・市の公共施設と民間施設が一体となった都市型複合施設を整備し、駅西口中央地区を駅前広場と一体的に整備した再開発を視察しました。

両市が取り組まれた利便性や集客性の向上策は、本市が進める駅前整備事業の参考となりました。

特別委員会の視察報告

競馬事業特別委員会

（8月9・10日）

川崎競馬場・船橋競馬場…
経営改善策と競馬事業振興策の
取り組みについて

川崎競馬場は、経営改善計画による抜本的な事業見直しに取り組み、商店街との相互誘客を図りながら、競走馬の毛色別レースなど、ファンサービスの企画を充実させています。その結果、南関東の各競馬場との連携を強みに、ピークで36億円あった累積赤字を5億円台まで回復させています。

船橋競馬場は20年度からリニューアル計画にのっとり振興策や経営合理化に取り組んでいます。トイレなどの整備も進み、着実に計画が進んでいる印象でした。

本市の競馬事業は、極めて厳しい状況にあります。振興策を考へる上で、他場の取り組みを参考にします。



川崎競馬場

虚礼廃止にご理解を!!

政治家は、日頃からお世話になった人でも**お中元**や**お歳暮**を贈ることは禁止されています。

また、**暑中見舞い**や**年賀状**などのあいさつ状を出すことも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。

編集後記

昨年は、東日本大震災、福島原発事故など、甚大な被害を被った年でした。被災者の方々は今なお不自由な生活を強いられており、一日も早い復興を祈るものです。

福山市議会では12月定例会で、議会基本条例と政治倫理条例を制定しました。地方分権が叫ばれる中、議員の果たすべき役割と責任は重大です。市民の皆さまに身近だと思っただけの市議会をめざすべく、編集委員会もその役割を果たしてまいります。本年もよろしく願い申し上げます。（中安）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200